



小島 智恵 議員
(政清会)

問 妊娠、出産、子育て支援について伺う。

- (1) 妊婦について
- ① 妊婦健診料の助成を、初診の妊娠判定から対象とする考えは。
 - ② 妊婦訪問は、9 か月は遅いので早期に訪問する考えは。
 - (2) 産後ケア事業について
 - ① 訪問型・通所型の利用状況と利用率は。
 - ② 相談各種はもとより、お母さんの休養は重要。通所型の回数や利用期間拡充の考えは。
 - (3) 一時保育について
 - ① ホームページでは土曜日の利用ができるとされているが、子育て支援センターまぐべつで利用できず、給食が利用できる月齢(2歳6か月)も表記がない。その理由は。
 - ② キャンセル待ちや希望通りの日時に予約できないことも多いが、原因と対策は。
 - ③ 保育士・幼稚園教諭の人材確保の取組は。養成学校に通う方への貸付けや町内に就職した方

問 室内遊び場(本町地区)の整備を 答 現時点において設置する考えはない

- の奨学金返還を助成する考えは。
- ④ 利用料が現金払いなので、キヤッシュレス決済などの導入を。
 - ⑤ 申請、面談をファミリー・サポートと一元化を。まかせて会員の会員数と利用状況は。
 - (4) 相談の訪問も兼ねて紙おむつなど育児用品を無料配達する考えは。
 - (5) 未就学児について
 - ① 子育て支援センターでおもちゃを貸出する考えは。
 - ② 室内遊び場が本町地区になく、公共施設の空き部屋など活用し、整備する考えは。

町 長

- (1) ① 母子健康手帳に妊婦健康診査として記録のないものは助成対象外としており、従来どおりの考えに基づき実施していきたい。
- ② 妊娠8 か月前後を目安としているが、各種相談やまぐべつ子育てアプリ「母子モ」を通して、妊婦の情報や希望を把握し、状況に応じて月齢を問わず訪問していく。
- (2) ① 訪問型の利用人数は、令和4

年度は10人(7.6%)、5年度は16人(14.0%)、本年度(10月末現在)は19人(27.1%)。

通所型は、4年度は9人(6.9%)、5年度は9人(7.9%)、本年度(10月末現在)は11人(15.7%)となっている。

- ② 本年度から利用期間を産後10か月まで延長した。現在の利用回数を拡充する考えはない。
- (3) ① 保育士の確保が困難な場合は土曜日の利用をお断りすることがあること、給食が利用できる月齢については面接時に説明しているが、あらかじめ分かるようにホームページの説明を修正した。
- ② 幼稚園や小学校などの行事がある日は予約が多くなる。幼稚園に入所している保護者の方には、幼稚園で実施している一時預かりの利用を勧めている。
- ③ 保育士の仕事に興味をもってもらえるよう、職場体験や保育実習生の受入れを行っている。

社会福祉法人北海道社会福祉協議会の貸付制度など情報提供に努

- ④ スマートフォンアプリから納入できるよう、新年度に向けて収納システムの切り替えを進めていく。
- ⑤ 同時期に申請があった場合は合わせて面談を行っている。

まかせて会員は48人。令和5年度の利用状況は576件(送迎480件、預かり25件、育児支援44件、家事支援27件)である。

(4) 経済的支援として出産・子育て応援給付金を支給しており、育児用品の無料配付を実施する考えはない。

- (5) ① 民間企業において定額制でレンタルできるサービスもあり、現時点で実施する考えはない。
- ② 令和6年2月に実施した「幕別町子ども・子育て支援に関するアンケート調査」において、幕別地区に屋内の遊び場を設置してほしいという意見は4件と少ない状況であったことから、現時点においては設置する考えはない。



未就学児の屋内遊び場
(札内コミュニティプラザ内)